



かいとう かさいじよし きばよう
《灰陶加彩女子騎馬俑》唐時代(618-907年)

俑とは、中国で身分の高い人のお墓に副葬した人形の事です。この作品は、唐時代(618-907年)に作られました。

衣装にほどこされた色彩が、今でもきれいに残っています。

馬に乗っている女性は、背筋を伸ばして手綱をとっています。

淡い緑色と褐色の上衣を着て、ズボンと長靴をはいています。

馬は、まっすぐ前を向いて、後足を少し曲げて動き出そうとしています。

馬に乗った女性は、どこに行くのでしょうか。
旅に出るのかな?それとも近所へお買い物?

みんなはどんな服を着たいかな?どんな馬に乗りた
いかな?さあ、自由に色を付けてみましょう。